

【開講日】令和元年11月28日(木)

三鷹サテライト教室

文学

三鷹

312030

# 石原吉郎の黙示録的 エッセイと詩篇

受講料 (振込額)	3,000円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	木曜日		日程 11月28日 12月5日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全2回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学名誉教授・日本現代詩人会員 <b>竹田 日出夫</b> (たけだ ひでお)				
	1935年東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。文学修士。武蔵野大学名誉教授。日本現代詩人会員、日本文芸家協会会員、パレスティナ難民支援NGO「地に平和」会員。著書・編著に『渴仰と復活の挿画』、『現代社会の暴力と詩人』、『中原中也・立原道造』ほか。詩集に『フィレンツェのムンク』、『地中海から』、『パレスティナから』ほか。				
内容	戦後詩界に『日常への強制』(1970年〈昭和45〉、構造社刊)を以て登場し、全共闘世代にも熱烈に支持された石原吉郎(いしはら・よしろう)のエッセイと詩篇をとり上げ紹介します。石原吉郎(1915年(大正4)～1977年(昭和52))は昭和14年応召し関東軍情報部に配属され、敗戦と共にパイ容疑者(本当は無実)として旧ソ連当局により逮捕され、ソ連国内法で裁かれ重労働25年(当時、死刑はなく最高刑)の判決をうけました。以後は、過酷な労働や飢餓など収容所体験を強制され、同28年スターリンの死による恩赦で帰国後は、人間の永遠のテーマである「孤独」「連帯」についての鋭いエッセイや詩を次々に発表し、その黙示録的作品が注目されました。その中から代表的な作品を選び、2回にわたり皆さんと読み解いてまいります。なお、テキストの代わりにプリントを使用いたします。参考図書：『石原吉郎詩集』(「現代詩文庫」第一期26巻)思潮社				
	①11月28日：石原吉郎のエッセイと詩篇を読む(1) ②12月5日：石原吉郎のエッセイと詩篇を読む(2)				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

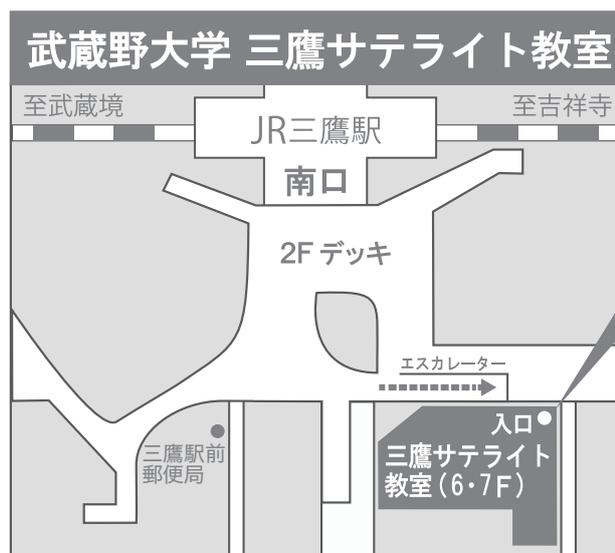
お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00  
：土曜日 9:30～15:30(祝日を除く)

武蔵野大学 生涯学習事業課

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。